

平成29年度全国学力・学習状況調査の結果

阿波市教育委員会

1 はじめに

今年4月、全国の小学校6年生と中学校3年生を対象に、国語・算数（数学）の基礎知識と活用及び生活習慣や学習環境等に関する「学力・学習状況調査」が実施されました。

この調査は、調査結果の分析により、さまざまな施策や学校教育活動の成果と課題を明らかにし、その改善を図っていくための資料として活用しています。

阿波市におきましては、平成27年度から、阿波市全体の結果概要と改善の方策等について広く市民に公表し、保護者や地域の方々のご理解とご協力を得ながら効果的な学力向上対策を推進していきたいと考えています。

今後とも、学力向上についてのさまざまな施策の推進にご協力くださいますようお願いいたします。

※ 本市では、序列化や過度の競争につながる恐れがあることから、学力調査の数値結果や個々の学校名の公表は行っておりません。

2 全国学力・学習状況調査の概要について

(1) 調査対象

- 小学校第6学年の全児童
- 中学校第3学年の全生徒

(2) 調査内容

①教科に関する調査（国語、算数・数学）

主として「知識」に関する問題(A)	主として「活用」に関する問題(B)
・身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容 ・日常生活において活用できるようになっていることが望ましい知識・技能 など	・知識・技能等を日常生活の様々な場面に活用する力 ・様々な課題解決のために構想を立て実践し評価・改善する力 など

②生活習慣や学習環境等に関する調査

児童生徒に対する調査	学校に対する調査
学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査 (例)国語の勉強は好きですか、授業の内容はどの程度分かりますか、携帯電話等の使用時間、読書時間、勉強時間の状況 など	指導方法に関する取組や人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する調査 (例)学力向上に向けた取組、指導方法の工夫、教育の情報化、教員研修、家庭・地域との連携の状況 など

(3) 実施日 平成29年4月18日（火）

3 調査結果

(1) 教科に関する調査結果

①小学校

教科	問題	結果
国語	A	全国平均と比較して、全体的には同程度ですが、「話すこと・聞くこと」と「書くこと」に課題が見られます。
	B	全国平均と比較して、「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」以外の領域において、やや低い傾向が見られます。
算数	A	全国平均と比較して、全体的には同程度ですが、「量と測定」に課題が見られ、「図形」は高い傾向があります。
	B	全国平均と比較して、全体的には同程度ですが、「数と計算」はやや低い傾向が見られます。

①中学校

教科	問題	結果
国語	A	全国平均と比較して、全体的には同程度ですが、「話すこと・聞くこと」・「書くこと」に課題が見られます。
	B	全国平均と比較して、全体的にやや低く、特に「話すこと・聞くこと」と「書くこと」に課題が見られます。
数学	A	全国平均と比較して、全体的には同程度ですが、「関数」は高い傾向が見られます。
	B	全国平均と比較して、全体的には同程度ですが、「関数」に課題が見られます。

設問別の主な集計結果

小学校6年国語

身につけていること

- ①漢字を正しく読むこと。
- ②ことわざの意味を理解して、自分の表現に用いること。

身につけさせたいこと

- ①話し合いの様子を記した文章を読み、相手の発言の意図を捉えること。
- ②目的や意図に応じ、必要な内容を整理して書くこと。

小学校6年算数

身につけていること

- ①乗法で表すことができる二つの数量の関係を理解すること。
- ②二つの数の最小公倍数を求めること。

身につけさせたいこと

- ①割合を基に問題を解き、その理由を記述すること。
- ②示された方法から一般的な解決方法を導き出すこと。

中学校 3年国語

身につけていること

- ① 文脈に即して漢字を正しく読み、書いたりすること。
- ② 目的に応じて資料を活用したり、自分の考えをまとめたりすること。

身につけさせたいこと

- ① 事象や行為などを表す多様な語句について理解すること。
- ② 比喩などの表現の仕方について捉え、自分の感じたことや考えを書くこと。

中学校 3年数学

身につけていること

- ① ある数量が正の数と負の数で表されることを理解すること。
- ② 与えられた表やグラフから、必要な情報を適切に読み取ること。

身につけさせたいこと

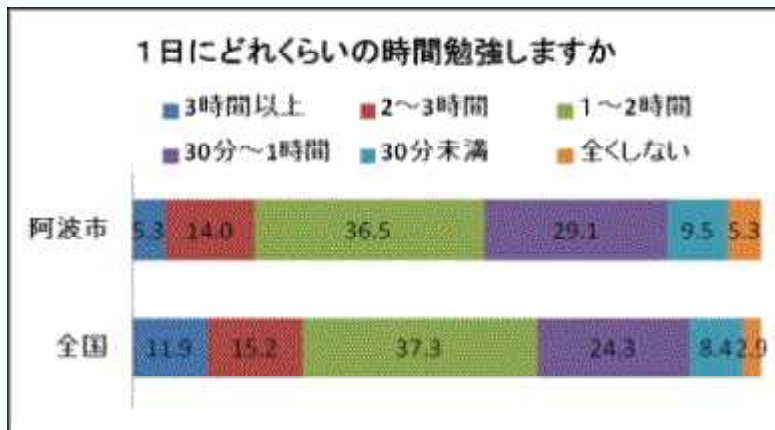
- ① 身の回りの事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を説明すること。
- ② 図形の間隔を回転移動に着目して説明すること。

(2) 生活習慣や学習環境等に関する調査結果

小学校

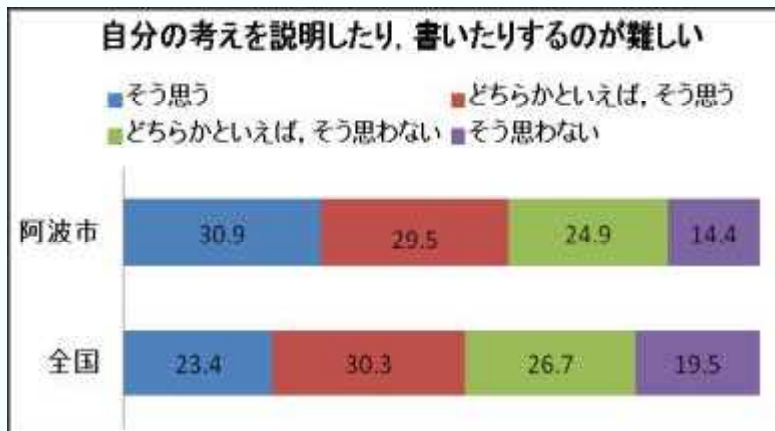
○ 学習時間

全国平均と比較すると、「平日に授業以外で1時間以上勉強している」と回答した児童が約9%低く、特に3時間以上勉強している児童は、半数程度であることが分かりました。



○ 自分の考えを伝えること

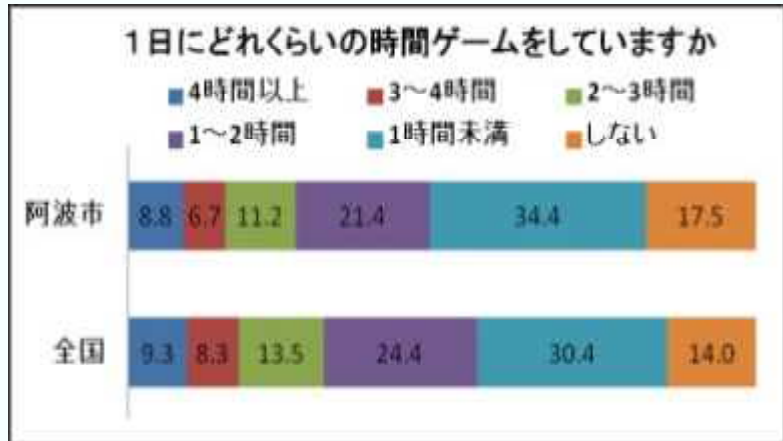
全国平均と比較すると、「自分の考えを他の人に説明したり、文章に書いたりすることが難しい」と回答した児童が多いことが分かりました。



○ ゲームをする時間

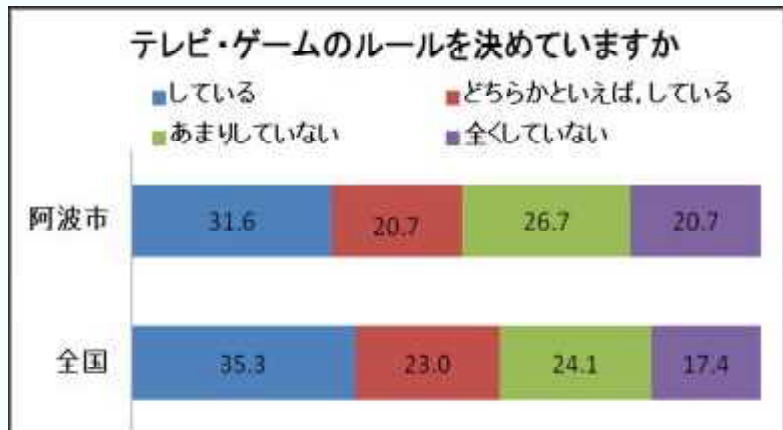
全国平均と比較すると、平日にゲームをしている時間はやや少ないようです。

ただし、「3時間以上している」と回答した児童が約16%もいることが分かりました。



○ テレビ・ゲームのルール

全国平均と比較すると、「テレビやゲームをする時間のルールを決めていない」と回答した児童の割合が多く、半数近くの家庭でルールを決めていないことが分かりました。



○ いじめについての意識

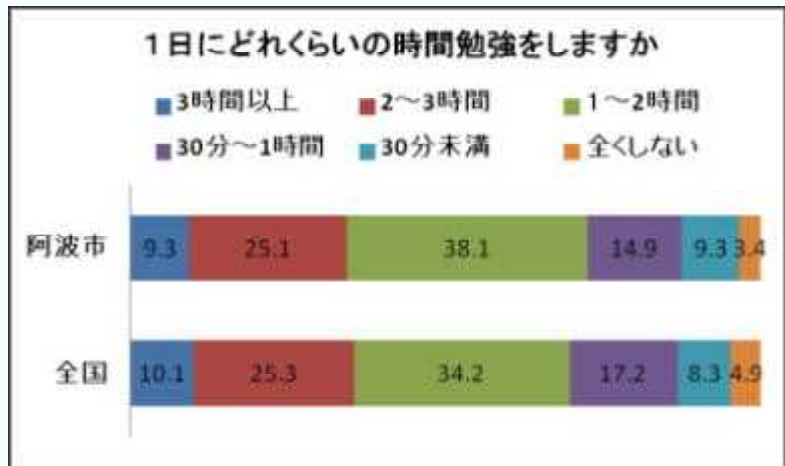
全国平均と比較すると、「どんな理由があっても、いじめはいけないことだと思う」と回答した児童が約7%高く、約97%の児童が、「いじめはいけないこと」と認識していることが分かりました。



中学校

○ 学習時間

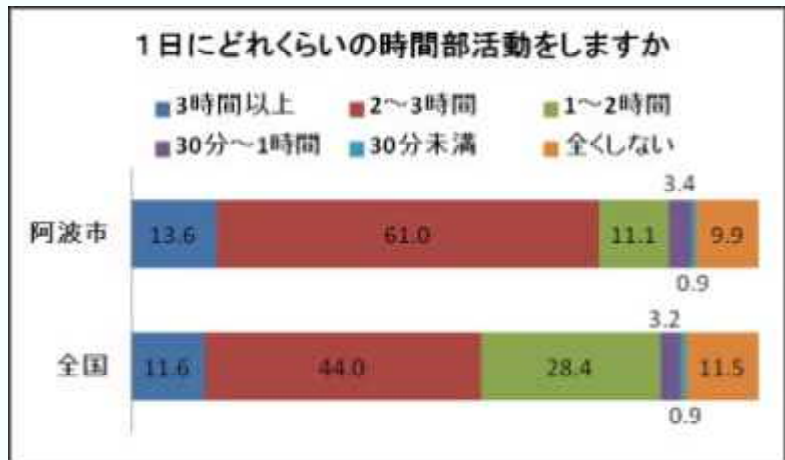
平日に授業以外で学習をしている時間は全国平均と同程度であることが分かりました。また、休日の学習時間についての調査でも同様の結果となっていました。



○ 部活動の時間

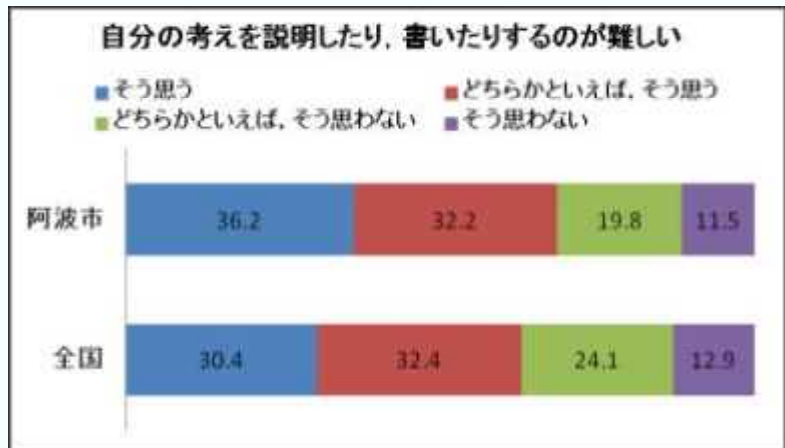
全国平均と比較すると、「平日に2時間以上部活動をしている」と回答した生徒が約20%多いことが分かりました。

別の分析結果によると、1～3時間部活動をしている生徒の学力調査の正答率が高い傾向があるようです。



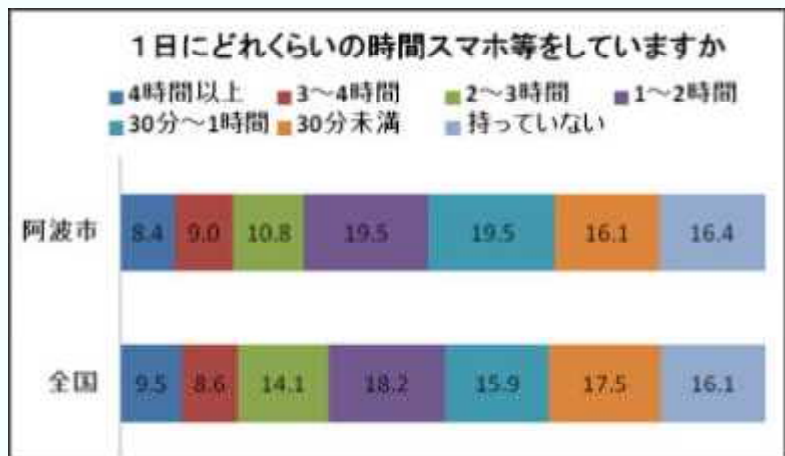
○ 自分の考えを伝えること

全国平均と比較すると、「自分の考えを他の人に説明したり、文章に書いたりすることが難しい」と回答した生徒が多いことが分かりました。



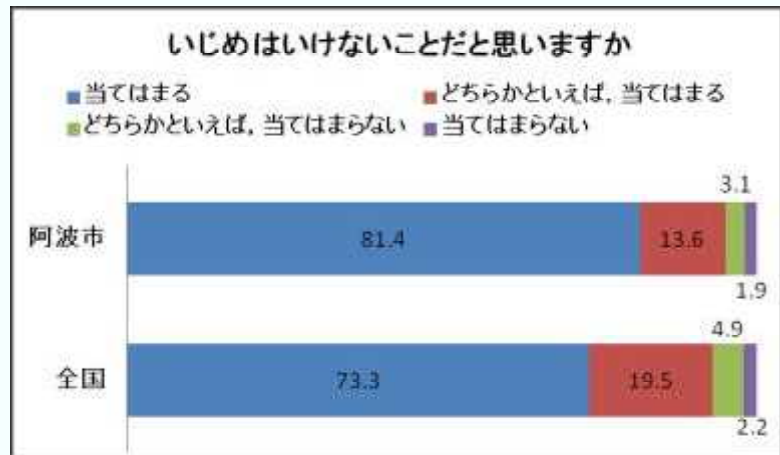
○ スマホ等をする時間

全国平均と比較すると、平日のスマホ等の使用時間はやや少ないことが分かりました。ただ、約17%の生徒が3時間以上スマホ等をしていることが分かりました。(スマホ等でゲームをする時間は除く。)



○ いじめについての意識

全国平均と比較すると、「どんな理由があっても、いじめはいけないことだと思う」と回答した生徒が約8%高く、約95%の生徒が、「いじめはいけないこと」と認識していることが分かりました。



(3) 学校の取組の状況

○ 「学力向上につながる学校の取組」

〔ICTの効果的な活用〕

- ・ICTを活用して、子ども同士が教え合い学び合う学習や課題発見・解決型の学習指導を行っている学校が増えてきています。

〔組織的な対応〕

- ・「学力向上実行プラン」達成に向けた方策について全教職員間で共有し、組織的な取組を推進しています。

〔校内研修〕

- ・子どもたちに学力をつけるために、学校でテーマを決め講師を招くなど、教師の指導力を高める取組を推進しています。

〔家庭・地域との連携〕

- ・学校支援ボランティアによる放課後学習など、地域人材を活用した取組を推進しています。

4 阿波市の学力向上への取組方針

- 学力向上のための教員の研修会を実施し、指導方法の工夫改善に努めます。
- 学力向上推進講師を派遣し、TT指導や放課後学習を行います。
- ICTを活用した学力向上のための取組を推進します。
- 学力向上推進コーディネーターが学校訪問し、授業改善等の指導を行います。
- 授業公開や研修会等小中学校の連携を進め、共通取組体制の確立を進めます。
- 読書活動の推進を図り、児童生徒が読書を通して言語に関する興味や関心を高める取組を促進します。
- 家庭と連携して、家庭学習の充実を図ります。

5 保護者・地域の皆さんへ

家庭学習や基本的な生活習慣の確立に向けてご協力をお願いします。

- 家庭で勉強する習慣を身につけさせましょう。

家庭における学習時間のめやす

小学校「学年×10分」

中学校「学年+1時間」

- ・毎日決まった時刻に学習させましょう。
- ・子どもの学習している姿を見ましょう。
- ・子どもの学習したものを見ましょう。（認める、ほめる）
- ・学習に集中できる環境をつくりましょう。

（テレビを見ながらなど、「ながら勉強」をしないようにしましょう。）

- 読書習慣を身につけさせましょう。

- ・本にふれる機会を設け、読書に親しむ環境をつくりましょう。

（親子読書や読み聞かせなど）

- ・図書だけでなく新聞も読むようにすすめ、読解力や語彙力を高めるとともに、社会の出来事に興味を持たせ、一般的な知識を身につけさせましょう。

- 家族のふれあいや話し合いの時間を増やしましょう。

- ・家庭で、テレビやゲーム・スマホ等の使用時間についてのルールをつくり、家族のふれあいや話し合いの時間を増やしましょう。
- ・家庭において、積極的にコミュニケーションを図りながら、生活リズムを整えるルールづくりをしましょう。

子どもたちの生活リズムを整え、学習習慣や読書習慣を身につけるためには、学校と家庭や地域が連携しながら進めることが大切です。今後ともご協力くださいますようお願いいたします。

